

地震・雷・火事・親父



ハイライト

- 火災メールが遅れた原因は、「第3者発着信制限」だったサーバーの電話番号を2番目へ設定変更をお願いします



春の訪れが待ち遠しいですね。
弊社サービスをご利用いただきほんとうにありがとうございます。

● 火災メールが遅れた原因は、「第3者発着信制限」だった

何となくおかしいと気づき始めたのは 2023 年の 1 月頃です。「消防訓練をしたがメールが 15 分後しかこなかった」「火災メールサーバーの電話番号を一般通報先の 1 番に設定しているがメールが来なかった」など 3 ヶ月に 1 回程度お問合せをいただくようになりました。再度訓練通報を行っていただくと正常なメール配信ができるのでまったく不思議でした。

一般的な原因としては、火災通報装置が「火災一斉メールサーバー」に架電して「話中」だと判断し、次の通報先へとステップを進めてしまう「話中エラー」の発生が原因です。火災通報装置の劣化や地域電話回線の障害にあるといわれています。

サーバー側は、「話し中にならない」対策を十分に取りしていますし、火災通報装置製造者にも「話中エラー」が度々発生するとの問い合わせが増加し課題となっていたようです。今回、サクサ(株)サービス担当者と詳しく情報交換をする機会があり、真の原因が判明しましたのでご紹介します。

真の原因は、電話回線の「第3者発着信制限」でした。聞き慣れない言葉ですね。110 番や 119 番など緊急通報後の通報者と消防・警察との通信を確実にするため、通報後の一定時間（30 秒間）は他者との発着信が制限される仕組みです。

職員の皆さんは、消防訓練では 119 番の呼び返しに応じ赤電話の受話器を取り、火災の詳細を伝えます。このとき**消防署より通報者が早く電話を切ってしまうと、この 30 秒間の発着信規制が発生します。**一般通報先 1 番（火災一斉メールサーバー）にうまく電話が繋がらない場合が発生します。消防署の方が電話を早く切った場合、この発着信規制はかかりません。

そこで火災メールを正常配信する対策ですが、現在、火災一斉メールサーバーの電話番号登録を一般通報先の 1 番に設定いただく様お願いしていますが、一番最後の電話番号を 1 番目に、**火災一斉メールサーバーの電話番号を通報先の 2 番目に変更登録をお願いします。**この方法が最も有効な対策です。一般通報先がサーバー 1 ヶ所だけの場合はそのまま結構です。またサーバーの電話番号を 1 番目にそのまま残すと 2 回メールが配信されることになります。

ご存じの通り 2024 年 1 月から固定電話が I P 網に移行しました。正確なデータは持ち合わせませんが「第3者発着信制限」機能は強化され「話中エラー」の問い合わせも増えた気がいたします。サーバーの電話番号の順位変更にお手数をお掛けしますがどうかよろしくお願いいたします。

今回は、長い文章で分かり難い内容だったこととお詫びします。次回は楽しい内容にしたいと思っています。インフルエンザも流行しています皆様も十分にご注意下さい。ご活躍をお祈りします。

担当は、加藤電工 加藤 初徳でした。